

平成30年度

副専攻コース履修案内

【平成28年度以前入学者用】

岡 山 大 学

目 次

1 副専攻コースの趣旨	1
2 コースの種類とコース開設学部等	1
3 履修方法等	2
4 修得単位の取扱い	2
5 修了証書の授与	3
6 その他の留意事項	3
●修了できなかった場合等の単位の取扱い	4
●各コースの履修方法等	5

副専攻コースは平成30年度入学生より募集を停止しております。この冊子は平成28年度以前入学者を対象としています。

1 副専攻コースの趣旨

副専攻コースとは、学生の皆さんが所属する学部や学科等の専門分野で学習した知識を、さらに広い視野で有効に活かすことのできる能力を養ってもらうために、各学部が定めている教育課程（カリキュラム）とは別の教育課程として設けたもので、全21コースがあります。

副専攻コースは、所属学部の学習において優れた成績を修め、かつ、開設学部に入受け入れを許可された者を履修対象者としており、修了すると『修了証書』が授与されます。

ただし、副専攻コースで修得した単位は、原則として所属学部の卒業要件単位にはなりません。

この冊子をよく読んで、副専攻コースの履修方法や単位の取扱いを間違えないようにしてください。

2 コースの種類とコース開設学部等

副専攻コースの種類と受入予定人数及び学部等は、以下のとおりです。

ただし、平成29年度以前入学者に限ります。

コース名	受入予定人数	開設学部等
英語コース 日本語教育コース	40人程度 15人程度	基幹教育センター
ドイツ語コース フランス語コース	15人程度 15人程度	文学部
教育科学コース 小学校CSTコース	20人 若干人	教育学部
現代市民法専攻コース 公共政策専攻コース	5人 5人	法学部
数学コース 物理学基盤コース 物質科学コース 生物科学コース 地球科学コース	若干人 若干人 若干人 若干人 若干人	理学部
国際保健コース 放射線安全管理・応用学コース	5人程度 5人	医学部
システムマネジメントコース	10人	工学部
環境科学コース	5人	環境理工学部
農芸化学コース 応用植物科学コース 応用動物科学コース 環境生態学コース	5人 5人 5人 5人	農学部

3 履修方法等

各副専攻コースの授業科目の履修方法及び修了要件等については、5 ページ以降の「各コースの履修方法等」を参照してください。

各コースの授業科目の内容、講義番号、授業担当教員、教室等については、上記を参考に、各自で教養教育科目又は各学部作成のシラバス・時間割等により確認してください。

なお、全学開放ではない専門教育科目を Web で履修登録する際、学生さん本人では Web 登録できない場合があります。その際は所属学部の教務担当でお尋ねください。

4 修得単位の取扱い

副専攻コースで修得した単位は、教養教育科目を除き、原則として所属学部の卒業要件単位に算入されません。

(1) 2 年次の第 3 学期より前までの取扱い

履修の開始時期が、2 年次の第 3 学期より早い副専攻コースを履修している場合、修得した授業科目・単位の扱いは、教養教育科目、専門教育科目とも所属学部が編成している教育課程の授業科目の取扱い（全学で定めている教養教育科目の授業科目に係る取扱いを含む。）によります。

(2) 2 年次の第 3 学期以降の取扱い（副専攻コースの履修を許可された時期以降）

履修を許可された者が、副専攻コースにおいて修得した授業科目・単位の扱いは、以下のとおりです。（2 年次の第 3 学期より前に修得した単位も含む。）

- ① 教養教育科目については、所属学部が編成している教育課程の授業科目の取扱い（全学で定めている教養教育科目の授業科目に係る取扱いを含む。）によります。これに含まれない授業科目は、副専攻コースの教養教育科目として取扱います。

注) 1 所属学部の卒業要件単位となっている教養教育科目が、同時に副専攻コースを構成する授業科目に該当する場合は、この科目を卒業要件単位と副専攻コース修了要件単位の双方にカウントします。（ただし、経済学部夜間主コースについては双方のカウントの上限は 20 単位までです。）

2 全学開放の専門基礎科目は、平成 28 年度以降入学者は教養教育科目の知的理解科目として扱われます（平成 27 年度以前入学者の場合、教養教育科目の個別科目として扱われます）ので、副専攻コースを構成する授業科目に該当している場合は、この科目についても、副専攻コース修了要件単位として双方にカウントします。

- ② 専門教育科目については、副専攻コースの専門教育科目として取扱います。

(3) 成績証明書等への科目区分の表記について

成績証明書等への表記は、修得単位の取扱いの(1)及び(2)の取扱いに基づいて、「その他科目」として表記します。

(4) 副専攻コースを修了できなかった場合、履修を許可されなかった場合等の取扱い

副専攻コースを修了できなかった場合等の取扱いについては、4 ページを参照し

てください。

5 修了証書の授与

副専攻コースを履修して修了要件を満たした場合は、卒業時に副専攻コース修了証書が授与されます。

また、副専攻コースの修了者には、「副専攻コース修了証明書（副専攻コースの全修得科目も記載）」を交付します。

6 その他の留意事項

所属学部の卒業要件を満たした場合は、副専攻コースの履修が途中であっても卒業となりますので、以後の履修はできません。

●修了できなかった場合・履修を許可されなかった場合の単位の取扱い

学 部	単 位 の 取 扱 い
文 学 部	文学部の卒業資格単位（文学部履修細則第3条）に該当するものは卒業資格単位として算入する。それ以外については卒業資格単位に算入しない。
教育学部	教育学部の卒業要件（教育学部規程第16条に定める別表第8及び第17条に定める別表第9）に該当するものは卒業要件単位として算入する。それ以外については卒業要件に算入しない。
法学部 昼間コース	法学部の卒業資格単位（法学部規程）に該当するものは卒業資格単位として算入する。それ以外については卒業資格単位に算入しない。
経済学部 昼間コース 夜間主コース	経済学部の卒業要件（経済学部履修細則【昼間コース】第10条【夜間主コース】第10条）に該当するものは卒業要件単位として算入する。それ以外については卒業要件に算入しない。
理 学 部	理学部の卒業要件（理学部規程）に該当する教養教育科目は、卒業要件単位として算入する。 専門教育科目については、卒業要件に算入しない。ただし、2年次第2学期終了時までには修得した科目は、卒業要件に算入する。
工 学 部	工学部の卒業要件（工学部規程）に該当する教養教育科目は、卒業要件単位として算入する。 専門教育科目については、卒業要件に算入しない。
農 学 部	農学部の卒業要件（農学部規程）に該当する教養教育科目は、卒業要件単位として算入する。 専門教育科目については、卒業要件単位に算入しない。
マッチングプログラム コース	マッチングプログラムコースの卒業要件（マッチングプログラムコース規則）に該当する教養教育科目は、卒業要件単位として算入する。 専門教育科目については、卒業要件に算入しない。
グローバル・ディス カバリー・プログラ ム	グローバル・ディスカバリー・プログラムの卒業要件（グローバル・ディスカバリー・プログラム履修細則第3条に定める別表第1及び別表第2）に該当するものは卒業要件として算入する。それ以外については卒業要件に算入しない。

●各コースの履修方法等

英語コース（夜間主コース学生を除く 平成28年度～29年度入学者適用）

英語コースにおける科目区分		授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘要		
必修科目	教養教育科目	英語コミュニケーション1-1	0.5	6	1年次	外部検定試験による単位認定を受けた「英語コミュニケーション」は、副専攻コース（英語コース）においても修了要件に含める。		
		英語コミュニケーション1-2	0.5					
		英語コミュニケーション2-1	0.5					
		英語コミュニケーション2-2	0.5					
		英語コミュニケーション3-1	0.5					
		英語コミュニケーション3-2	0.5					
		英語コミュニケーション4-1	0.5		2年次			
		英語コミュニケーション4-2	0.5					
		英語コミュニケーション5-1	0.5					
		英語コミュニケーション5-2	0.5					
		英語コミュニケーション6-1	0.5					
		英語コミュニケーション6-2	0.5					
		スピーキングと討論	0.5または1				2～4	1年次～4年次
		リスニングとスピーキング	0.5または1				2～4	
リーディングと討論	0.5または1	2～4						
ライティングと討論	0.5または1	2～4						
小計				16				
選択科目	専門基礎科目	セミナーA	1	4	3年次～4年次	選択科目の履修時には必修科目16単位を修得していることが望ましい。		
		セミナーB	1					
		セミナーC	1					
		セミナーD	1					
		リサーチ・プロジェクトA	1	4	3年次～4年次			
		リサーチ・プロジェクトB	1					
		リサーチ・プロジェクトC	1					
		リサーチ・プロジェクトD	1					
小計				8				
合計				24				

履修に際しては、下記の注意事項及び次ページ以降をよく確認すること。

注)

【必修科目（教養教育科目）】

- 必修科目は、「英語コミュニケーション1-1～6-2」及び「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」、「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」の科目名で開講される科目となります。（9ページ確認）
- 「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」、「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」の履修要件は、次のとおりです。
 - ◎「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」：TOEICスコア400点以上495点以下
 - ◎「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」：TOEICスコア500点以上（検定対策クラスを除く。）
TOEICスコア600点以上
- 「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」、「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」の履修希望者は、必ず最初の授業に出席し、TOEICスコアシートを提示して、担当教員から許可を得てください。
- 「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」、「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」は、高い質と教育効果を確保するために人数制限をすることがあります。
- 「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」は、副専攻コースの修了要件単位として、最大4単位まで算入できます。
- 外部認定試験による単位認定を受けた「英語コミュニケーション」は、副専攻コース（英語コース）においても修了要件に含めます。

【選択科目（専門基礎科目）】

- 選択科目は、「英語特別演習1-1、英語特別演習1-2」、「英語特別演習2-1、英語特別演習2-2」の科目名で開講されます。（9ページ以降確認）
- 選択科目の履修時には、必修科目16単位を修得していることが望ましい。
- 選択科目の履修希望者は、必ず最初の授業に出席し、担当教員から許可を得てください。
- 選択科目は、一対一で指導を行う時間を多く取り入れ、少人数制をとります。

【履修の許可審査】

英語コースの履修申請者が、定員（1学年40名）を超えるときは、面接試験を課すことがあります。

平成30年度 副専攻コース対象英語科目と講義番号

(平成28年度～29年度入学者用) 夜間主コース学生も含む

注)「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」は、副専攻コースの修了要件単位として、最大4単位までの算入となりますので、履修登録時には、注意してください。

科目区分	科目名	単位	講義番号 期別・曜日・時限	英語コースの授業科目名		
教養 教育 科目	プレ上級英語	1	914004 第2 金・5&6	Speaking and discussion (スピーキングと討論)		
		1	914006 第4 木・3&4			
	上級英語 上級英語-1 上級英語-2		0.5		914149 第1 月・7	
			0.5		914157 第1 木・7	
			0.5		914194 第2 月・7	
			0.5		914202 第2 木・7	
			0.5		914164 第3 月・7	
			0.5		914170 第3 火・7	
			0.5		914172 第3 木・7	
			0.5		914208 第4 月・7	
			0.5		914213 第4 火・7	
			0.5		914215 第4 木・7	
			1		914107 第1 金・7&8	
			1		914122 第2 火・5&6	
			1		914129 第2 金・5&6	
			1		914174 第3 木・1&2	
		1	914139 第3 金・7&8			
		1	914217 第4 木・1&2			
	上級英語 上級英語-1 上級英語-2		0.5		914150 第1 月・7	Listening with speaking (リスニングとスピーキング)
			0.5		914161 第1 金・7	
		0.5	914195 第2 月・7			
		0.5	914206 第2 金・7			
		0.5	914190 第3 金・7			
		0.5	914232 第4 金・7			
		1	914118 第2 火・1&2			
		1	914127 第2 金・3&4			
		1	914178 第3 木・3&4			
		1	914184 第3 木・5&6			
		1	914221 第4 木・3&4			
		1	914227 第4 木・5&6			
プレ上級英語		1	914001 第2 火・3&4	Reading with discussion (リーディングと討論)		
		1	914008 第3 木・5&6			
		1	914011 第4 木・5&6			
上級英語 上級英語-1 上級英語-2		0.5	914153 第1 火・7	Reading with discussion (リーディングと討論)		
		0.5	914158 第1 金・7			
		0.5	914198 第2 火・7			
		0.5	914203 第2 金・7			
		0.5	914187 第3 金・7			
		0.5	914229 第4 金・7			
プレ上級英語		1	914125 第2 金・1&2	Writing with discussion (ライティングと討論)		
		1	914180 第3 木・3&4			
		1	914223 第4 木・3&4			
上級英語 上級英語-2		0.5	914003 第2 金・3&4	Writing with discussion (ライティングと討論)		
		0.5	914156 第1 木・7			
		0.5	914197 第2 火・7			
		0.5	914201 第2 木・7			
		1	914120 第2 火・3&4			
		1	914185 第3 木・5&6			
英語特別 演習1-1 英語特別		1	914301 第1 火・7&8	SeminarA(セミナーA)		
		1	914303 第2 火・7&8	SeminarB(セミナーB)		
		1	914302 第3 火・7&8			

基礎科目	演習1-2	1	914304	第4	火・7&8	
	英語特別 演習2-1	1	914305	第1	火・7&8	Research projectA (リサーチ・プロジェクトA)
		1	914308	第2	火・7&8	
	英語特別 演習2-2	1	914306	第3	月・7&8	Research projectB (リサーチ・プロジェクトB)
		1	914309	第4	月・7&8	
		1	914307	第3	木・3&4	Research projectC (リサーチ・プロジェクトC)
		1	914310	第4	木・3&4	

*上記授業の中には、第1・2学期、第3・4学期で授業内容が継続しているものと、各学期で授業内容が完結しているものがあります。詳しくはシラバスの「備考・履修上の注意」欄を参照してください。

英語コースの履修モデル 平成28年度入学者（夜間主コース学生を除く）の場合

平成28年度	「英語コミュニケーション1・2・3」 副専攻対象「プレ上級英語，プレ上級英語-1，プレ上級英語-2」 「上級英語，上級英語-1，上級英語-2」	3単位修得 6単位修得
平成29年度	「英語コミュニケーション4・5・6」 副専攻対象「上級英語，上級英語-1，上級英語-2」	3単位修得 4単位修得
平成30年度	「セミナーA・B・C・D」 「リサーチ・プロジェクトA・B・C・D」	4単位修得 4単位修得

注)「プレ上級英語，プレ上級英語-1，プレ上級英語-2」は、副専攻コースの修了要件単位として、最大4単位まで算入できます。

副専攻対象英語科目の授業概要

「スピーキングと討論」

学生は、(1)与えられたトピックについて、アイデアをまとめ、自分の意見を発表し、(2)明瞭で洗練された表現で、自分の意見を発展させ、(3)実際の対話の感覚を身につけるとともにスピーキングと討論のスキルを習得することを目指します。

Speaking and discussion

Students will: (1) organize ideas and express themselves on a given topic; (2) learn to develop their own opinions by speaking clearly and smoothly; (3) acquire speaking and discussion skills with a good sense of how social interactions take place.

「リスニングとスピーキング」

様々なリスニング教材の、多様な内容と場面での理解力向上のためのスキルの習得を目指します。たとえば、話される言葉を予測したり、キーワードを探したり、イントネーションや発音により注意を払ったりできるようになります。英会話における良い聞き手になる方法も学びます。

Listening with speaking

Students will learn various skills to improve their ability to understand different types of listening materials. These skills include actions to take before, during, and after listening: for example, predicting language, listening for key words, and increasing awareness of intonation and pronunciation. Students will also learn how to be better listening partners with others in English.

「リーディングと討論」

易しい英語で書かれたテキストをたくさん読みます。学生は、(1)様々な種類のテキストを容易く自信をもって読めること、(2)各自のレベルに応じたテキストを多読することにより、すらすらと英文が読めること、(3)読解力向上のために用いられる様々なスキルや方法を意識すること、(4)活発に討論に参加することにより、文献の理解を深めその内容を発表する力を身につけることを目指します。

Reading with discussion

Students will learn to: (1) read various kinds of English language texts with greater ease and confidence; (2) build reading fluency by extensively reading texts adapted to the level of the students; (3) gain an awareness of various skills and strategies used to improve reading comprehension; and (4) express and develop their understanding of the texts they have read by actively participating in discussions with other students and the teacher.

「ライティングと討論」

異なるジャンルのライティング能力向上を目指します。学生は、まずこれらのジャンルについて学習し、次に各ジャンルにおけるライティング・ストラテジーを学びます。学生はまた、他の学生とのディスカッションを通して、各自のライティングを修正・校訂します。

Writing with discussion

Students will improve their writing skills by writing in a variety of genre. In class students will learn about these genres and various writing strategies. They will also participate in discussions with other students and help them to revise and edit their work.

「セミナーA」と「セミナーB」

すべて英語で行われる演習です。セミナーは、日本社会の諸相、グローバル化、テクノロジー、ビジネス、環境問題など幅広いトピックを扱います。現代の日本や世界が抱える問題について、理解を深め、議論する能力を向上させるのに役立つでしょう。

Seminar A & B

Students in this course will be provided with the opportunity to select and discuss topics based on a wide range of issues including: aspects of Japanese society, globalization, technology, business, and environmental issues. This course will help students to improve their understanding of, and ability to discuss, a number of current issues related to Japan and the world.

「リサーチ・プロジェクトA」と「リサーチ・プロジェクトB」

すべて英語で行われる演習です。各学生は主専攻を基にリサーチ・トピックを選びます。グループ討論をし、主要学術文献を読み、リサーチ・ペーパーを書き、プレゼンテーションを行います。コミュニケーションのための4技能の訓練を行い、学術研究を体験し、各自の専門分野に関連する英語の専門的な語彙の習得を目指します。

Research project A & B

Each student will choose research topics based on their own major. In the class students will take part in group discussions, read key academic texts, write about their research, and make presentations all in English. Students will practice the four main skills of communication, gain experience of working in a research environment, and learn specific English vocabulary connected to their major.

英語コースQ & A

Q： 新入生です。英語コースを履修したいのですが、1年生ではどの科目を履修したらよいですか。

A： 必修科目「英語コミュニケーション1-1～英語コミュニケーション3-2」に加えて、9・10ページ記載の「副専攻コース対象英語科目と講義番号」が、該当する科目ですので、講義番号からシラバスを検索して、科目を選択してください。

Q： 初回の授業に出席すればよいですか。

A： はい。

希望する科目の初回の曜日時限に、開講教室に出席して、担当教員へ「英語コース」を希望している旨を伝えてください。

なお、TOEICスコアシートを入手次第速やかに担当教員に提示してください。

Q： 希望していることを伝えれば、「英語コース」の履修が認められたことになるのでしょうか。

A： いいえ。

この科目には、英語コース履修を希望しない学生も含まれており、本コースを希望する学生数を把握したためにお聞きするものです。また、希望者が多い場合は履修できないことがあります。

正規の履修の申請手続きは、2年次の7月に所属学部申請して、コースの履修許可を受けます。

許可された場合には、それまでに修得した単位が、本コース科目として修了要件単位に算入されます。

Q： 希望していることを伝えなかったら、「英語コース」の申請はできないことになりますか。

A： いいえ、できます。

2年次7月のコース履修申請はできます。許可されれば、単位修得した該当の「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」・「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」は本コース科目として修了要件単位に算入されます。

Q： この申請に際して、試験などが課されるのでしょうか。

A： 申請した所属学部から、適格者として基幹教育センターに履修を依頼された場合に、その合計が定員（1学年40名）を超えるときは、本センターで面接試験を課することがあります。

Q： 2年次の7月に「英語コース」の申請を辞めた場合または、申請したが許可されなかった場合には、それまでに修得した単位はどうなりますか。

A： 教養教育科目「英語コミュニケーション1-1～6-2」は同じ科目名で、また、（スピーキングと討論～ライティングと討論）は、「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」・「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」として卒業要件の単位として算入されます。ただし、「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」・「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」が算入されない学部もありますので、所属学部の学生便覧等で確認してください。

Q： 2年次の第3学期以降に「英語コース」の修了要件単位を修得できなかった場合には、それまでに修得した単位はどうなりますか。

A： 教養教育科目（英語コミュニケーション1-1～6-2、スピーキングと討論～ライティングと討論）は、前述のとおりですが、専門基礎科目（セミナーA、B、C、D、リサーチ・プロジェクトA、B、C、D.）は、卒業要件の単位としての扱いが学部により異なりますので、所属学部の学生便覧等で確認してください。

Q： 修了試験はありますか。

A： ありません。

「英語コース」の修了要件の科目を単位修得すればコース修了となります。

Q： 副専攻「英語コース」を修了した場合、副専攻対象「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」・「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」の修得単位は卒業要件の教養教育科目「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」・「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」の修得単位として算入されますか。

A： 算入されるかどうかは、学部により異なりますので所属学部の学生便覧でよく確認してください。

英語コース（夜間主コース学生を除く 平成27年度入学者適用）

コース概要： 効果的な英語コミュニケーション・スキルを構築する。コース修了時には、研究活動や仕事の実践的な場で使える英語運用能力を習得することを目指す。						
英語コースにおける科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘要	
必修科目 教養教育科目	総合英語1	1	1	1年次	外部検定試験による単位認定を受けた「総合英語」は、副専攻コース（英語コース）においても修了要件に含める。	
	総合英語2	1	1			
	総合英語3	1	1			
	総合英語4	1	1			
	総合英語5（プレゼンテーション）	1	0～4	2年次		
	総合英語5（リーディング）	1				
	総合英語5（ライティング）	1				
	総合英語5（リスニング）	1				
	スピーキングと討論	0.5・1・2	2～4	1年次～4年次		
	リスニングとスピーキング	0.5・1・2	2～4			
リーディングと討論	0.5・1・2	2～4				
ライティングと討論	0.5・1・2	2～4				
小計			16		同一科目の繰り返し履修可。	
選択科目 専門基礎科目	セミナーA	1または2	4	3年次～4年次		選択科目の履修時には必修科目16単位を修得していることが望ましい。
	セミナーB	1または2				
	セミナーC	1または2				
	セミナーD	1または2				
	リサーチ・プロジェクトA	1または2	4	3年次～4年次		
	リサーチ・プロジェクトB	1または2				
	リサーチ・プロジェクトC	1または2				
	リサーチ・プロジェクトD	1または2				
小計			8			
合計			24			

履修に際しては、下記の注意事項及び次ページ以降をよく確認すること。

注)

【必修科目（教養教育科目）】

- 必修科目は、「総合英語1～5」・「プレ上級英語，プレ上級英語－1，プレ上級英語－2」・「上級英語，上級英語－1，上級英語－2」の科目名で開講されます。（次ページ確認）
- 「プレ上級英語，プレ上級英語－1，プレ上級英語－2」・「上級英語，上級英語－1，上級英語－2」の履修要件は、次のとおりです。
 - ◎「プレ上級英語，プレ上級英語－1，プレ上級英語－2」：TOEICスコア400点以上495点以下
 - ◎「上級英語，上級英語－1，上級英語－2」：TOEICスコア500点以上（検定対策クラスを除く。）
：TOEICスコア600点以上
- 「プレ上級英語，プレ上級英語－1，プレ上級英語－2」・「上級英語，上級英語－1，上級英語－2」の履修希望者は、必ず最初の授業に出席し、TOEICスコアシートを提示して、担当教員から許可を得てください。
- 「プレ上級英語，プレ上級英語－1，プレ上級英語－2」・「上級英語，上級英語－1，上級英語－2」は、高い質と教育効果を確保するために人数制限をすることがあります。
- 「プレ上級英語，プレ上級英語－1，プレ上級英語－2」は、副専攻コースの修了要件単位として、最大4単位まで算入できます。
- 外部認定試験による単位認定を受けた「総合英語」は、副専攻コース（英語コース）においても修了要件に含めます。

【選択科目（専門基礎科目）】

- 選択科目は、「英語特別演習1－1，英語特別演習1－2」・「英語特別演習2－1，英語特別演習2－2」の科目名で開講されます。（次ページ以降確認）
- 選択科目の履修時には、必修科目16単位を修得していることが望ましい。
- 選択科目の履修希望者は、必ず最初の授業に出席し、担当教員から許可を得てください。
- 選択科目は、一対一で指導を行う時間を多く取り入れ、少人数制をとります。

【履修の許可審査】

英語コースの履修申請者が、定員（1学年40名）を超えるときは、面接試験を課すことがあります。

平成30年度 副専攻コース対象英語科目と講義番号

(平成27年度入学者用)

注)「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」は、副専攻コースの修了要件単位として、最大4単位までの算入となりますので、履修登録時には、注意してください。

科目区分	科目名	単位	講義番号 期別・曜日・時限		英語コースの授業科目名	
教養 教育 科目	プレ上級英語	1	914004	第2 金・5&6	Speaking and discussion (スピーキングと討論)	
		1	914006	第4 木・3&4		
	上級英語 上級英語-1 上級英語-2	0.5	914149	第1 月・7		
		0.5	914157	第1 木・7		
		0.5	914194	第2 月・7		
		0.5	914202	第2 木・7		
		0.5	914164	第3 月・7		
		0.5	914170	第3 火・7		
		0.5	914172	第3 木・7		
		0.5	914208	第4 月・7		
		0.5	914213	第4 火・7		
		0.5	914215	第4 木・7		
		1	914107	第1 金・7&8		
		1	914122	第2 火・5&6		
		1	914129	第2 金・5&6		
		1	914174	第3 木・1&2		
	1	914139	第3 金・7&8			
	1	914217	第4 木・1&2			
	上級英語 上級英語-1 上級英語-2	0.5	914150	第1 月・7		
		0.5	914161	第1 金・7		
0.5		914195	第2 月・7			
0.5		914206	第2 金・7			
0.5		914190	第3 金・7			
0.5		914232	第4 金・7			
1		914118	第2 火・1&2			
1		914127	第2 金・3&4			
1		914178	第3 木・3&4			
1		914184	第3 木・5&6			
1		914221	第4 木・3&4			
1		914227	第4 木・5&6			
プレ上級英語	1	914001	第2 火・3&4			
	1	914008	第3 木・5&6			
	1	914011	第4 木・5&6			
上級英語 上級英語-1 上級英語-2	0.5	914153	第1 火・7			
	0.5	914158	第1 金・7			
	0.5	914198	第2 火・7			
	0.5	914203	第2 金・7			
	0.5	914187	第3 金・7			
	0.5	914229	第4 金・7			
	1	914125	第2 金・1&2			
	1	914180	第3 木・3&4			
プレ上級英語	1	914003	第2 金・3&4			
	上級英語 上級英語-2	0.5	914156	第1 木・7	Writing with discussion (ライティングと討論)	
		0.5	914197	第2 火・7		
0.5		914201	第2 木・7			
1		914120	第2 火・3&4			
1		914185	第3 木・5&6			
1	914228	第4 木・5&6				
専門 基礎	英語特別	1	914301	第1 火・7&8	SeminarA(セミナーA)	
	演習1-1	1	914303	第2 火・7&8	SeminarB(セミナーB)	
	英語特別	1	914302	第3 火・7&8		
	演習1-2	1	914304	第4 火・7&8		

科目	英語特別演習2-1	1	914305	第1	火・7&8	Research projectA (リサーチ・プロジェクトA)	
		1	914308	第2	火・7&8		
	英語特別演習2-2	1	914306	第3	月・7&8	Research projectB (リサーチ・プロジェクトB)	
		1	914309	第4	月・7&8		
			1	914307	第3	木・3&4	Research projectC (リサーチ・プロジェクトC)
			1	914310	第4	木・3&4	

*上記授業の中には、第1・2学期、第3・4学期で授業内容が継続しているものと、各学期で授業内容が完結しているものがあります。詳しくはシラバスの「備考・履修上の注意」欄を参照してください。

英語コースの履修モデル（平成27年度入学者の場合）

平成27年度	「総合英語1・2・3・4」	4単位修得
	副専攻対象「プレ上級英語」「上級英語」	4単位修得
平成28年度	「総合英語5(プレゼンテーション)(リーディング)(ライティング)(リスニング)」	4単位修得
	副専攻対象「上級英語, 上級英語-1, 上級英語-2」	4単位修得
平成29年度	「セミナーA・B・C・D」	4単位修得
	「リサーチ・プロジェクトA・B・C・D」	4単位修得

注)「プレ上級英語, プレ上級英語-1, プレ上級英語-2」は、副専攻コースの修了要件単位として、最大4単位まで算入できます。

英語コース（平成26年度以前入学者適用）

コース概要：						
効果的な英語コミュニケーション・スキルを構築する。コース修了時には、研究活動や仕事の実践的な場で使える英語運用能力を習得することを目指す。						
英語コースにおける科目区分		授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘要
必修科目	教養教育科目	スピーキングと討論	0.5または1または2	4	1年次～4年次	必修科目は、各授業科目から4単位ずつ履修すること。
		リスニングとスピーキング	0.5または1または2	4	1年次～4年次	
		リーディングと討論	0.5または1または2	4	1年次～4年次	
		ライティングと討論	0.5または1または2	4	1年次～4年次	
選択科目	専門基礎科目	セミナーA	1または2	4	3年次～4年次	同一科目の繰り返し履修可。 選択科目の履修時には必修科目16単位を修得していることが望ましい。
		セミナーB	1または2		3年次～4年次	
		セミナーC	1または2		3年次～4年次	
		セミナーD	1または2		3年次～4年次	
		リサーチ・プロジェクトA	1または2	4	3年次～4年次	
		リサーチ・プロジェクトB	1または2		3年次～4年次	
		リサーチ・プロジェクトC	1または2		3年次～4年次	
		リサーチ・プロジェクトD	1または2		3年次～4年次	
合計				24		

履修に際しては、下記の注意事項及び次ページ以降をよく確認すること。

注)

【必修科目（教養教育科目）】

- 必修科目は、「プレ上級英語，プレ上級英語－1，プレ上級英語－2」・「上級英語，上級英語－1，上級英語－2」の科目名で開講されます。（次ページ以降確認）
- 「プレ上級英語，プレ上級英語－1，プレ上級英語－2」・「上級英語，上級英語－1，上級英語－2」の履修要件は、次のとおりです。
 - ◎「プレ上級英語，プレ上級英語－1，プレ上級英語－2」：TOEICスコア400点以上495点以下
 - ◎「上級英語，上級英語－1，上級英語－2」：TOEICスコア500点以上（検定対策クラスを除く。）
：TOEICスコア600点以上
- 必修科目の履修希望者は、必ず最初の授業に出席し、TOEICスコアシートを提示して、担当教員から許可を得てください。
- 必修科目は、高い質と教育効果を確保するために人数制限をすることがあります。
- 「プレ上級英語，プレ上級英語－1，プレ上級英語－2」は、副専攻コースの修了要件単位として、最大4単位まで算入できます。

【選択科目（専門基礎科目）】

- 選択科目は、「英語特別演習1，英語特別演習1－1，英語特別演習1－2」・「英語特別演習2，英語特別演習2－1，英語特別演習2－2」の科目名で開講されます。（次ページ以降確認）
- 選択科目の履修時には、必修科目16単位を修得していることが望ましい。
- 選択科目の履修希望者は、必ず最初の授業に出席し、担当教員から許可を得てください。
- 選択科目は、一対一で指導を行う時間を多く取り入れ、少人数制をとります。

【履修の許可審査】

英語コースの履修申請者が、定員（1学年40名）を超えるときは、面接試験を課すことがあります。

平成30年度 副専攻コース対象英語科目と講義番号

(平成26年度以前入学者用)

注)「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」は、副専攻コースの修了要件単位として、最大4単位までの算入となりますので、履修登録時には、注意してください。

科目区分	科目名	単位	講義番号 期別・曜日・時限	英語コースの授業科目名	
教養教育科目	プレ上級英語	1	914004 第2 金・5&6	Speaking and discussion (スピーキングと討論)	
		1	914006 第4 木・3&4		
	上級英語 上級英語-1 上級英語-2		0.5		914149 第1 月・7
			0.5		914157 第1 木・7
			0.5		914194 第2 月・7
			0.5		914202 第2 木・7
			0.5		914164 第3 月・7
			0.5		914170 第3 火・7
			0.5		914172 第3 木・7
			0.5		914208 第4 月・7
			0.5		914213 第4 火・7
			0.5		914215 第4 木・7
			1		914107 第1 金・7&8
			1		914122 第2 火・5&6
		1	914129 第2 金・5&6		
		1	914174 第3 木・1&2		
		1	914139 第3 金・7&8		
		1	914217 第4 木・1&2		
	上級英語 上級英語-1 上級英語-2		0.5	914150 第1 月・7	Listening with speaking (リスニングとスピーキング)
			0.5	914161 第1 金・7	
			0.5	914195 第2 月・7	
			0.5	914206 第2 金・7	
			0.5	914190 第3 金・7	
			0.5	914232 第4 金・7	
			1	914118 第2 火・1&2	
			1	914127 第2 金・3&4	
			1	914178 第3 木・3&4	
		1	914184 第3 木・5&6		
		1	914221 第4 木・3&4		
		1	914227 第4 木・5&6		
プレ上級英語		1	914001 第2 火・3&4	Reading with discussion (リーディングと討論)	
		1	914008 第3 木・5&6		
		1	914011 第4 木・5&6		
上級英語 上級英語-1 上級英語-2		0.5	914153 第1 火・7		
		0.5	914158 第1 金・7		
		0.5	914198 第2 火・7		
		0.5	914203 第2 金・7		
		0.5	914187 第3 金・7		
		0.5	914229 第4 金・7		
		1	914125 第2 金・1&2		
		1	914180 第3 木・3&4		
	1	914223 第4 木・3&4			
プレ上級英語	1	914003 第2 金・3&4	Writing with discussion (ライティングと討論)		
上級英語 上級英語-2		0.5			914156 第1 木・7
		0.5			914197 第2 火・7
		0.5		914201 第2 木・7	
		1		914120 第2 火・3&4	
		1		914185 第3 木・5&6	
	1	914228 第4 木・5&6			
専門基	英語特別	1	914301 第1 火・7&8	SeminarA(セミナーA)	
	演習1-1	1	914303 第2 火・7&8		
	英語特別	1	914302 第3 火・7&8	SeminarB(セミナーB)	

基礎科目	演習1-2	1	914304	第4	火・7&8	
		1	914305	第1	火・7&8	Research projectA
	英語特別	1	914308	第2	火・7&8	(リサーチ・プロジェクトA)
	演習2-1	1	914306	第3	月・7&8	Research projectB
	英語特別	1	914309	第4	月・7&8	(リサーチ・プロジェクトB)
	演習2-2	1	914307	第3	木・3&4	Research projectC
		1	914310	第4	木・3&4	(リサーチ・プロジェクトC)

*上記授業の中には、第1・2学期、第3・4学期で授業内容が継続しているものと、各学期で授業内容が完結しているものがあります。詳しくはシラバスの「備考・履修上の注意」欄を参照してください。

英語コースの履修モデル（平成26年度入学者の場合）

平成26年度1セメスター	副専攻対象「上級英語」	4単位修得
2セメスター	同上	4単位修得
平成27年度3セメスター	同上	4単位修得
4セメスター	同上	4単位修得
平成28年度	「セミナーA・B・C・D」	4単位修得
	「リサーチ・プロジェクトA・B・C・D」	4単位修得

日本語教育コース（平成27年度入学者に適用）

平成27年度入学者の方は、開講科目の変更に伴う授業科目の読替がありますので、次ページの平成27年度入学学部学生 授業科目読替表を必ずご確認ください。

コース概要：						
日本語及び日本語教育に関する知識と実践能力を獲得し、外国人に日本語を教えらるる教師養成を目指します。						
日本語教育コースにおける科目区分		授 業 科 目	単 位	修了要件 単 位 数	履修年次 年次	
※1 必修 科目	専門科目	日本語教材研究	2	8	2～3年次	
		日本語学概論 ※2	2		3～4年次	
		日本語教授法概論	1		2～3年次	
		日本語指導法 ※2	2		3～4年次	
		日本語教育演習1 ※3 ※6	1		3～4年次	
選 択 必 修 科 目		日本語教育とマルチメディア	1		4	2～4年次
		異文化の中の心理と支援	1			2～4年次
		言語と社会	1			2～4年次
		第二言語習得論	1	2～4年次		
		日本語教育演習2 ※3	1	3～4年次		
		日本語研究と教材作成	1	2～4年次		
※4 選 択 科 目	教養教育科目	「日本語教育能力検定試験」の 関連科目から選択		10	1～4年次	
		教養教育科目として開設する全ての 外国語科目から ※5		2	2	1～4年次
合 計				24		

注)

- 必修・選択必修科目は、日本語教育についての専門的な知識獲得及び技能の養成のための科目です。
 - 「日本語教材研究」を既に履修した者のみが、表中※2の科目を履修することができます。
 - 「日本語指導法」を既に履修した者のみが、表中※3の科目を履修することができます。
 - 選択科目は、日本語教育について幅広い知識を得るための科目です。外国語科目以外の科目名は、19ページを参照してください。
 - 選択科目の外国語科目については、本コースの履修の許可を審査する際、履修申請者からの既修得科目の当該科目への認定申請に基づき、本コースにおいて修得した科目として認定します。
 - 「日本語教育演習1」は2単位まで重複履修が可能ですが、コースの修了要件としては1単位までしか認めません。
- ☆ 必修科目・選択必修科目の科目名に「2」がつく科目を履修する時には、同じ科目名に「1」がつく科目を既に修得していることが望ましい。

日本語教育コースの履修モデル（平成27年度入学者の場合）

平成27年度	選択必修科目・選択科目履修	8単位取得
平成28年度	選択必修科目・選択科目履修 必修科目履修（日本語教授法概論、日本語教材研究）	4単位取得 3単位取得
平成29年度	選択必修科目・選択科目履修 必修科目履修（日本語学概論、日本語指導法、日本語教育演習1）	4単位取得 5単位取得

対象者：平成27年度入学の学部学生

岡山大学副専攻コース 日本語教育コース

授業科目 読替表

平成27年度入学者 (科目等履修生は含まない)						
入学時にお知らせしている教育課程				読替科目(平成28年度以降に履修する科目)		
科目 区分	授業科目	単 位	修了要件 単位数	読替科目	単 位	修了要件単位数
必 修 科 目	日本語教材研究	2	2	日本語教材研究1	1	1
				日本語教材研究2	1	1
	日本語学概論	2	2	日本語学概論1	1	1
				日本語学概論2	1	1
	日本語教授法概論	1	1	日本語教授法概論	1	1 変更(読替)なし
	日本語指導法	2	2	日本語指導法1	1	1
日本語指導法2				1	1	
日本語教育演習1	1	1	日本語教育演習1	1	1 変更(読替)なし	
選 択 必 修 科 目	日本語教育とマルチメディア	1	4	日本語教育とマルチメディア	1	この中から 4単位
	異文化の中の心理と支援	1		異文化の中の心理と支援	1	
	言語と社会	1		言語と社会	1	
	第二言語習得論	1		第二言語習得論	1	
	日本語教育演習2	1		日本語教育演習2	1	
	日本語研究と教材作成	1		日本語研究と教材作成	1	
選 択 科 目	「日本語教育能力検定試験」の 関連科目から選択		10	「日本語教育能力検定試験」の 関連科目から選択		この中から 10単位
	教養教育科目として開設 する全ての外国語から		2	教養教育科目として開設 する全ての外国語から		この中から 2単位
合 計			24	合 計		24

平成30年度副専攻日本語教育コース対象科目

科目区分	授業科目	単位	講義番号 期別・曜日・時限
選択科目	日本ビジネスコミュニケーション	1	912423 1・月・5, 6
	日本の農業と農村社会	1	911129 1・月・7, 8
	日本史を見る眼	1	911040 1・火・1, 2
	王朝物語の世界4	1	911006 1・火・3, 4
	国際社会学：多様性を理解する	1	911171 1・火金・4
	万人のための教育-日本と世界	1	911126 1・火・7, 8
	※茶の湯にみる日本文化1：日本の美と文化史	1	911141 1・木・5, 6
	実践型教育/学習概論1	1	912062 1・木・7, 8
	日本語史の諸問題	1	911016 1・金・1, 2
	※国語教科書を読む	1	911023 1・金・3, 4
	留学生と学ぶ日本伝統文化	1	912065 第1学期集中
	※子どもの歴史の学び方	1	911001 2・月・3, 4
	日本語の音声	1	911018 2・月・3, 4
	祭・芸能・音楽からみた世界	1	911003 2・月・5, 6
	日本食と文化1	1	911143 2・月・7, 8
	交流による子どもの成長支援 I I	1	918010 2・月・7, 8
	王朝物語の世界5	1	911007 2・火・3, 4
	アニメ：ジブリアニメから学ぶ日本	1	911094 2・火・3, 4
	ことばの世界	1	911025 2・火・5, 6
	※アジアを知る	1	911026 2・木・1, 2
	日本語史への誘い	1	911017 2・木・3, 4
	琉球の言語と文化	1	911022 2・木・3, 4
	映像でみる20世紀の日本と世界1	1	911042 2・木・3, 4
	茶の湯にみる日本文化2：作法と精神	1	911140 2・木・5, 6
	実践型教育/学習概論2	1	912063 2・木・7, 8
	※キャリアデザインI コミュニケーション力に磨きをかける	1	912401 2・金・3, 4
	※教養としての日本文学	1	911008 2・金・5, 6
	小中学生の協同教育のための教材開発	1	912006 2・金・7, 8
	留学生支援ボランティア実習	1	912501 2・不定期・-
	語学研修・サマーコース	1	911134 夏季集中
	※アジアを知る	1	911027 3・火・1, 2
	異文化組織で働く	1	911127 3・火・5, 6
	日本の文化遺産（中国、四国、九州）	1	911145 3・火・7, 8
	映像でみる20世紀の日本と世界2	1	911043 3・木・3, 4
	文化人類学への招待	1	911054 3・木・3, 4
	日本のポップカルチャー紹介	1	911095 3・木・3, 4
	ひとのことばの起源と進化	1	911021 3・木・5, 6
	文系レポート・論文の読み書き作法	1	911104 3・木・5, 6
	※茶の湯にみる日本文化1：日本の美と文化史	1	911139 3・木・5, 6
	グローバル化の社会学1	1	911159 3・木・5, 6
	東アジア都市史ー日本、中国、韓国	1	911153 3・木・7, 8
	創造的討論技術を学ぶ スペシャル	1	912022 3・木・7, 8
	心理学入門	1	911052 3・金・1, 2
	言葉と創作	1	911101 3・金・3, 4
	※教養としての日本文学	1	911009 3・金・5, 6
	日本人の戦争観	1	911041 4・月・3, 4
	国際協力とプロジェクト管理	1	911136 4・月・7, 8
	交流による子どもの成長支援 I	1	912004 4・月・7, 8
	※アジアを知る	1	911028 4・火・1, 2
	Cross-Cultural Experiences	1	911167 4・火金・4
※国語教科書を読む	1	911024 4・火・5, 6	
日本の文化遺産（関西、中部、関東）	1	911144 4・火・7, 8	
映像でみる20世紀の日本と世界ー戦後復興から高度成長期までー	1	911044 4・木・3, 4	
※キャリアデザインI コミュニケーション力に磨きをかける	1	912404 4・木・3, 4	
※子どもの歴史の学び方	1	911002 4・木・5, 6	
日本語の語彙と文法	1	911019 4・木・5, 6	
日本からみる太平洋諸島地域	1	911154 4・木・5, 6	

	グローバル化の社会学2	1	911160	4・木・5, 6
	東アジア都市史ー台湾、香港、ベトナム、フィリピン	1	911152	4・木・7, 8
	創造的討論技術を学ぶ デラックス	1	912023	4・木・7, 8
	留学生支援ボランティア実習	【注】2参照	912502	4・不定期・-
	語学研修・スプリングコース	【注】2参照	911135	春季集中
	国際インターンシップ	【注】3参照	912032	特別
	国際インターンシップ	【注】3参照	912033	特別

必修科目	日本語指導法1	1	911111	1・火・5, 6
	日本語学概論1	1	911108	1・金・3, 4
	日本語指導法2	1	911112	2・火・5, 6
	日本語教授法概論	1	911110	2・火・5, 6
	日本語学概論2	1	911109	2・金・3, 4
	日本語教材研究1	1	911117	3・金・3, 4
	日本語教育演習1	1	911114	3・火・5, 6
	日本語教育演習1	1	911115	4・火・1, 2
	日本語教材研究2	1	911118	4・金・3, 4
選択必修科目	日本語教育とマルチメディア	1	911113	1・火・3, 4
	異文化の中の心理と支援	1	911105	3・火・3, 4
	言語と社会	1	911106	1・火・5, 6
	第二言語習得論	1	911107	2・火・3, 4
	日本語教育演習2	1	911116	4・火・3, 4

注)

- 各授業科目の内容については、教養教育科目のシラバスで確認してください。
科目によっては、受講要件がありますので、特にご留意ください。
- 複数の期別・曜日・時限に開講される科目であっても、同一名の授業科目は、重複して履修することができません（表中の※印の科目）。
ただし、「留学生支援ボランティア実習」（平成28年度以降開講）は、重複して履修することができます。
副専攻コースの修了要件単位として、合計で最大2単位まで算入できます。
また、「語学研修・スプリングコース」「語学研修・サマーコース」（平成29年度以降開講）も、重複して履修することができます。副専攻コースの修了要件単位として、各科目それぞれ合計で最大2単位まで算入できます。
- 「国際インターンシップ」は重複履修可能な科目ですが、副専攻コースの修了要件としては1科目しか認められません。
- 対象科目は上記に掲げているものに限りません。同一の授業科目名であっても、期別・曜日・時限が異なるものは対象となりません。

生物科学コース（平成27年度入学者に適用）

コース概要：

生命現象の基本原則と多様性について、遺伝子、タンパク質、細胞、組織、個体の各レベルから総合的に学習する。

科目区分		授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次 年次・期	摘要
必修 科目	専門科目	分子生物学Ⅰ	2	4	2年次第3学期 以降	全科目とも、2年次第3学期以降に履修すること。 また、履修に際しては理学部専門教育科目のシラバスを参照し、予め本コース開講学科(生物学科)の教務担当委員と相談すること。
		植物生理学	2			
選 択 科 目	専門科目	細胞生物学Ⅰ	2	20		
		細胞生物学Ⅱ	2			
		生化学Ⅰ	2			
		生化学Ⅱ	2			
		遺伝学Ⅰ	2			
		遺伝学Ⅱ	2			
		分子遺伝学Ⅰ	2			
		分子遺伝学Ⅱ	2			
		発生生物学Ⅰ	2			
		植物細胞生理学	2			
		動物行動学	2			
		生体制御学Ⅰ	2			
神経生物学Ⅰ	2					
系統分類学	2					
合 計			24			

- 注) 1 理学部学生は、このコースは履修できません。
2 受講希望者は履修計画について理学部生物学科の教務担当委員と相談すること。

システムマネジメントコース (平成27年度入学者に適用)

コース概要：							
生産システムを定量的に最適化し、安全かつ効率的な運用の方法を学ぶと共に、関与する人間の特性と関連づけて計画・管理する方法について学ぶ。							
科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次		摘要	
				年次	期		
必修科目	教養教育科目	機械システム系概論	1	0.5 または1	2年次～	1学期	全科目とも、2年次以降に履修すること。 なお、教養教育科目をできるだけ先に履修すること。
		機械システム系概論	0.5		2年次～	1学期	
	専門科目	知能ロボット運用論	1	8	3年次～	4学期	
		システム信頼性工学	2		3年次～	1学期	
		生産システム学	2		3年次～	2学期	
		オペレーションズ・リサーチⅠ	1		3年次～	2学期	
		オペレーションズ・リサーチⅡ	1		3年次～	3学期	
オペレーションズ・リサーチⅢ	1	3年次～	4学期				
選択科目	教養教育科目	電気通信系概論	1	0.5 または1	2年次～	1学期	←所属学部と同科目をもって替える。 ←所属学部と同科目をもって替える。 ←所属学部と同科目をもって替える。
		電気通信系概論	0.5		2年次～	1学期	
		情報系概論	1		2年次～	1学期	
		情報系概論	0.5		2年次～	1学期	
	専門基礎科目	情報処理入門	2	14	2年次～	1・2学期	
		情報処理入門1	1		2年次～	1学期	
		情報処理入門2	1		2年次～	2学期	
		微分積分	2		2年次～	1・2学期	
		微分積分1	1		2年次～	1学期	
		微分積分2	1		2年次～	2学期	
		線形代数	2		2年次～	1・2学期	
		線形代数1	1		2年次～	1学期	
		線形代数2	1		2年次～	2学期	
		プログラミング	2		2年次～	3・4学期	
		プログラミング1	1		2年次～	3学期	
		プログラミング2	1		2年次～	4学期	
		確率統計	2		2年次～	3・4学期	
		確率統計1	1		2年次～	3学期	
		確率統計2	1		2年次～	4学期	
	微分方程式	2	2年次～	3・4学期			
	微分方程式1	1	2年次～	3学期			
	微分方程式2	1	2年次～	4学期			
	専門科目	画像センシング	1	8	3年次～	2学期	
システム安全性工学		1	3年次～		4学期		
エネルギー環境システム基礎論		1	3年次～		3学期		
インターフェイス設計学		1	3年次～		3学期		
合計			23				

- 注) 1 工学部学生は、このコースは履修できません。
 2 10名に人数制限する。
 3 機械システム系概論，電気通信系概論，情報系概論はそれぞれ同授業科目名は重複不可です。
 4 情報処理入門1，2と情報処理入門は重複履修不可です。
 5 微分積分1，2と微分積分は重複履修不可です。
 6 線形代数1，2と線形代数は重複履修不可です。
 7 プログラミング1，2とプログラミングは重複履修不可です。
 8 確率統計1，2と確率統計は重複履修不可です。
 9 微分方程式1，2と微分方程式は重複履修不可です。

環境生態学コース（平成28年度～平成29年度入学者に適用）

コース概要：

地域から地球環境を対象として環境と生態系、生物群集と個体群の仕組み、人間活動から見た食料確保と供給について生態学・経済学・情報工学の視点から総合的に学習する。生物多様性と進化、地球温暖化を含む気象生態と砂漠化という地球レベルの環境問題と、食料の生産基盤と技術、生産システムと流通、資源管理と地域計画を発展的に学習する。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次		摘要	
				年	期		
必修科目	専門基礎科目	農学概論1	1	4	3年次	1学期	(隔年)
		農学概論2	1		3年次	2学期	
		環境生態学コース概論1	1		2年次	3学期	
		環境生態学コース概論2	1		2年次	4学期	
選択科目	専門基礎科目	農業資源学1	1	4	3年次	1学期	
		農業資源学2	1		3年次	2学期	
		生態学概論1	1		3年次	1学期	
		生態学概論2	1		3年次	2学期	
		農業生物学1	1		3年次	1学期	
		農業生物学2	1		3年次	2学期	
	専門科目	地域環境管理学	1	22	3年次	1学期	
		生物多様性保全学	1		3年次	2学期	
		森林保全学1	1		3年次	2学期	
		森林保全学2	1		3年次	1学期	
		動物生態学1	1		3年次	1学期	
		動物生態学2	1		3年次	2学期	
		農業経営学1	1		3年次	1学期	
		農業経営学2	1		3年次	2学期	
		農業気象学	2		3年次	夏季集中	
		応用生物統計学1	1		3年次	1学期	
		応用生物統計学2	1		3年次	2学期	
		農業ロボット工学概論1	1		3年次	1学期	
		農業ロボット工学概論2	1		3年次	2学期	
		樹木生理生態学1	1		3年次	1学期	
		緑地保全学	1		2年次	3学期	
		土壌環境学	1		2年次	4学期	
		基礎昆虫学	1		3年次	3学期	
		水系保全生物学	1		3年次	4学期	
		農業経済学1	1		2年次	3学期	
		農業経済学2	1		2年次	4学期	
		資源管理学1	1		3年次	1学期	
		資源管理学2	1		3年次	2学期	
		生物生産機械学1	1		2年次	3学期	
		生物生産機械学2	1		2年次	4学期	
農環境物理学1	1	2年次	3学期				
農環境物理学2	1	2年次	4学期				
食料情報学1	1	3年次	1学期				
食料情報学2	1	3年次	2学期				
農村計画学1	1	3年次	1学期				
農村計画学2	1	3年次	2学期				
食料政策学1	1	3年次	3学期				
食料政策学2	1	3年次	4学期				
農業協同組合論1	1	3年次	1学期				
農業協同組合論2	1	3年次	2学期				
合計			30				

注) 全科目とも2年次第3学期以降に履修してください(先ず、専門基礎科目を修得しておくことが望ましい)。

農学部学生は、このコースは履修できません。